

2024年度 学位授与式 学長告辞

2024年度学位授与式にあたり、青森市長 西 秀記（にし ひでき）様をはじめ、各位のご臨席を仰ぎ、式を挙行できますことは、私ども青森公立大学 教職員一同にとりまして、この上ない慶びでございます。

お忙しいなか、ご出席いただきました、保護者の皆様ならびに御来賓の皆様に、厚く御礼申し上げます。

さて、卒業生、修了生のみなさん、ご卒業、ご修了、誠におめでとうございます。教職員を代表して心よりお祝いを申し上げます。また皆さんを支えてこられた、保護者の皆様、関係者の皆様にも、心より感謝とお祝いを申し上げます。

私たちは今、自然災害、物価高騰、予測困難な国際情勢など、まさに VUCA の時代に生きています。このような時代だからこそ、皆さんには「変化を恐れず、柔軟に適応する力」と「自らの価値観を持って決断する勇氣」を大切にしてほしいと思います。

みなさんは1年生の春学期に、「キャリア形成における転機・好機・危機」と題する講演を就職指導委員長がしていたのを覚えているでしょうか。新しい人生の転機を迎えようとするときは、その前の段階で十分に努力すること。そして自らの価値観をもって決断し、転機を好機としてほしいというメッセージが伝えられました。

以前、知り合いのレストラン経営者がこんな話をしていました。新型コロナウイルス感染症が拡大した当時、客足が激減し、経営が非常に困難な状況に陥りました。

しかし、この機会にメニューを見直し、テイクアウトや宅配サービスを導入しました。さらに、自宅で料理するための材料セットを開発して、オンライン販売を始めたのです。このビジネスは徐々に評判が広がり、売上も伸びていきました。結果として、コロナ前よりもはるかに経営が改善されたのです。

この例から、危機の時代にこそ、前を向いて挑戦する価値があるということを学ぶことができます。変化を前にして、立ち止まるのではなく、柔軟な発想で一定の努力をし、新しい可能性を探って行動に移すことが大切です。

もう1つお伝えしたいことがあります。大学で学んだことだけで、全てを解決できる訳ではありません。大学時代に身につけた考え方や、得た知識、経験は、皆さんが社会人として直面する課題に取り組むための、大きな力とはなりますが、実際に取り組んでみると、まだまだ足りないと感じるでしょう。この足りないという感覚を大切にしてください。そして今後も学び続けるようにしてください。これから社会人としての一步を踏み出しますが、それは新たな学びを始めるということです。

結びに、本日、青森公立大学を巣立つ皆さん、一人ひとりが、健康で幸せな、そして希望に満ちあふれた未来を切り拓かれることを、心より祈念して、2024年度 学位授与式の告辞といたします。本日はご卒業、ご修了、誠におめでとうございます。

2025年3月15日

青森公立大学 学長 神山 博